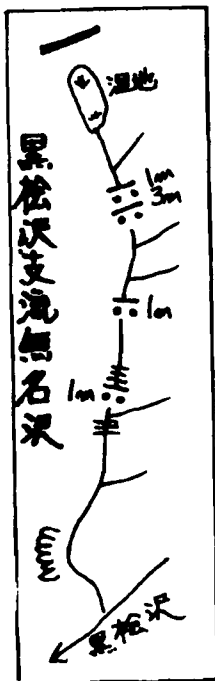


黒松沢支流無名沢 1992年9月13日



タケナグラ沢の遡行を終え、下降路として標高1100m付近で黒松沢と合流する無名の支流を選んだ。10時10分、下降開始。尾根のすぐ下が源頭の湿原。ミスバショウやメタカラコウなどが生育していた。この支流は平凡である。小滝を4つかけただけで、黒松沢の本流に達してしまっただけで、所要時間50分余りであった。

(記・)

【タイム】 下降開始(10:10)→黒松沢本流出合(11:00)→小豆温泉(12:30)

伊南川支流タケナグラ沢

1992年9月13日

対岸から眺めたタケナグラ沢は、急激に高度を稼いでいる。きっと滝があると話し合ったものだが、予想通り、滝がいくつも出てきた。

7時45分、遡行開始。伊南川を渡渉してタケナグラ沢に入る。すぐ10m。右側から直登するが、途中一部シャワーとなった。岩が花崗岩であるため、フリクションがよくきき、適度にスタンスもあって、登りやすい。出だしの滝をクリアすると、今度は急傾斜の沢筋となり、小滝が次々とかかるようになった。そしてまた10m。下部は水流をまたぐようにして登り、あとは左岸を直登する。奈良部君が右岸を直登したが、微妙なスタンスを利用しなければならなかった。

やがて兩岸に岩場がそそりたち、20m 2段滝。下段は右岸を直登。一部流木を利用する。上段も右岸を中程まで登ったが、上部がちょっときつく、安全を考えて右岸を捲くこととする。右岸の岩場を越えた所は、もう一つ上の20m 2段滝の中央部で、そのまま2つの滝を一緒に捲く。その先にもう一

